

「感染症のおはなし」



海老名総合病院
服部智任

新型コロナウイルス感染症によるパンデミック発生から1年以上がたちました。私は感染症の専門医ではありませんが、このパンデミックで学んだことを皆さんと共有したいと思えます。

海老名総合病院では、昨年の5月1日からコロナ患者の受け入れを開始しました。当院は未知の感染症に対応するトレーニングを受けている病院ではなかったため、当初の担当職員たちには大きな不安がありました。しかし、地道な研修や学習を重ねることで不安が解消されてい

き、日々の仕事の一部にできるようになりました。この原稿を書いていることしの6月まで、幸いなことに海老名総合病院でクラスターは発生していません。

私たちはこの過程で「正しく知り、理解し、行動につなげる」ことが大切だと学びました。これは医療従事者だけでなく市民の皆さんにも当てはまります。不安をおおるような報道が多い今日は、習得した正しい知識を自分の行動に反映させていくことが重要です。皆さんにも意識してもらえるところですので。



このコーナーは、海老名市医師会が健康をテーマにした情報を提供します。次回は10月15日号に掲載予定。



「えびな市民まつり」参加団体募集

関えびな市民まつり実行委員会事務局(市民活動推進課内) ☎ (235) 4794

11月14日(日)に海老名運動公園で開催する「えびな市民まつり」の参加団体を募集します。主に市内で活動している団体が対象です。詳細は、7月21日(水)から掲載する市ホームページをご覧ください。

内費①ブース出店(飲食・物品販売・展示・体験)／有料②ステージ(ダンス・和太鼓など)／無料 **申**7月21日(水)から、申込書を直接市民活動推進課へ。用紙は同課で配布のほか市ホームページからダウンロード可。②は同課へ郵送も可。8月13日(金)締め切り

